中村中学校・中村小学校・中村西小学校

中学校区の特色

・三校とも広い校庭を有しており、豊かな教育環境のもとのびのびと活動することができる。
・地域行事や施設が充実しており、地域の方々との交流や児童生徒間の交流が盛んにおこなわれている。

目指す 15 歳の姿

「地域に生き、活かし活かされる自分像の具現」

・心身共に健やかな生活を送るために、様々な活動を自律して行うことができる生徒
★自らの活動や学習内容を、自信をもって他者に発信することができる生徒
・自己有用感の高まりがみられ、自他や地域のために力を発揮できる生徒

1　小中一貫教育の取組プログラム

「柱」となるテーマ		自信をもって、自分のことを他者に発信できる 15 歳の育成に向けた、段階を追った授業での求める児童・生徒像
中学校	第３学年 第２学年 第１学年	・小集団でのコミュニケーションは取れるが全体発表は抵抗を示す生徒が多い。自分の意見を伝えようとする姿勢を作らせる。 ・様々な事象について筋道を立て、論理的な説明を行える。 ・知識をつなげ、考えを持ち、発表できる状況を作る。 ・教え合い活動の取り組みの中で、得意な生徒が指導できる。
小学校	第６学年 第５学年	・仲良くない児童同士もうまくかかわることができる。 ・知識のつながりを理解し、既習事項を活用できる。 ・学校全体に目を向け、必要な事項を発信できる。
	第４学年 第３学年	・グループワークや発表での成功体験を多く積んでいる。 ・身近なところに疑問をもてるようになる。 ・日常的なスピーチで自信をもち相手の目を見て発表できる。
	第２学年 第１学年	・安心感のある関係を作り、いつでもだれとでも活動できる。 ・授業での学習が身近な事象とつながっていることの実感をもつ。 ・ハンドサインを使い、話し合い活動に参加できる。

2　令和８年度の取組日程

日程	取組内容
令和８年７月 15 日(水)	第一回校区別協議会（中村中学校）
10 月 21 日（水）	第二回校区別協議会（中村小学校）
10 月 31 日（土）	ふれあいフェスタ
令和９年３月４日（木）	6 年生部活動体験会（中村中学校）

３　各分科会のまとめ

分科会	自己表現向上への実践報告
言語教科	相手の立場や気持ちを考えて話を聞く姿勢を育むとともに、発信の場をペアから小集団、学級全体へと段階的に広げることで、安心して発信できる環境づくりを推進した。
理数教科	話し合いの形態を「ペア」「グループ」「全体」へと段階的に発展させ、失敗を受け止める温かい環境づくりを通して、自分の考えを伝え合える授業実践を行った。
社会科	話し合い活動においてホワイトボードや ICT（電子黒板等）を活用し、意見の共通点や相違点を視覚的に整理・共有することで、対話の活発化を図った。
芸術教科	多様な場面で自らの思いや考えを言語化・発信させる機会を充実させた。児童生徒が「他者に伝えたい」と思える魅力的な題材設定や、個に応じた声掛けを意識した指導を進めた。
保健体育科	運動やゲーム領域において、作戦や技能に関するチームでの話し合い活動を工夫して取り入れた。勝敗を正しく受け入れる態度の育成や相手を尊重する実践に努めた。
養護・特支	板書による指示の視覚化、ノートのマス目の指定、ユニバーサルデザインに基づく教室環境の整備など、要支援児童生徒が安心して学習に参加できる手立てを協議した。

４　今年度の成果と今後の方向性

校区別協議会では、小中それぞれの授業を参観し、活発な話し合い活動を行うためにはどのような取り組みが大切かを話し合った。第１回では、具体的な方法を考え第２回までの間に実施、第２回で報告・検証を行った。

今年度は、学習に関するアンケートを実施したことで今回の取り組みの成果を数値として確認することができた。肯定的な結果となり校区別協議会での取り組みが効果的であったということが分かった。

児童生徒の実態に合わせて、段階的に発表の場を広げていくなど、「目指す 15 歳」に向かうように小中学校の円滑な接続を高め、研鑽していく。